



山に囲まれ緑豊かな寄居町

国民健康保険特別会計

3年連続の赤字決算

決算の概要 医療費の大幅な増加などにより、3年連続の赤字決算。一般会計から3億4000万円の法定外繰り入れを行ったにもかかわらず、9407万円の歳入不足となりました。国保財政は、極めて厳しい状況下にあると言えます。こうした中、町では国保財政の健全化に向け、新たな収納確保対策や医療費の削減策の推進など、さまざまな取り組みを進めてきました。

老人保健特別会計

制度廃止に伴い精算

決算の概要 22年度の老人保健は、制度廃止に伴う精算期間で、歳出は事務費と返還金の支払いのみでした。年度末で残金の全額を一般会計に繰り出し、特別会計は閉鎖しました。

後期高齢者医療特別会計

老人保健にかわる
制度として3年目

決算の概要 老人保健にかわる高齢者医療制度として制度化されてから3年目となりました。運営主体である埼玉県後期高齢者医療広域連合と連携しながら、町では保険料納付通知書の送付と徴収、給付申請などの窓口事務を行っています。

下水道事業特別会計

23年度整備工事に
向け、設計に着手

決算の概要 男衾駅周辺の面整備を施工するとともに、23年度の工事に向け、実施設計業務に着手。流域下水道事業については、県が終末処理場を計画的に整備しており、町ではその設備投資に伴い、建設負担金9705万4000円を支出しました。また維持管理事業では、寄居駅東の市街地と岩崎区の一部において、管渠3500メートルの清掃を行い、管路施設機能を確保しました。

農業集落排水事業特別会計

農業用排水の水質保全と
農村生活環境の改善を

決算の概要 22年度の水洗化普及状況は、今市地区94・4%、用土中央地区88・4%となり、水洗化率の向上が図られました。農業集落排水施設整備事業では、折原地区の管路施設2598メートルの整備工事等を行い、24年度の供用開始に向けた施設整備を進めました。また、事業の財源の一部となる受益者分担金(4510万2000円)の徴収を行いました。

水道事業会計

経営健全化により
黒字決算

決算の概要 彩の国資源循環工場第II期事業に伴う加圧ポンプ場及び配水管布設工事の実施計画を行ったほか、21年度に引き続き高金利企業債の繰り上げ償還を行い、経営の健全化を図りました。年間の総配水量は、489万7329立方メートルで、前年度比1・2%増加しました。その結果、水道事業収益は、前年度比1・1%の増加、水道事業費用は前年度比1・5%減少となったことから、引き続き黒字決算となりました。

特別会計決算額

国民健康保険	歳入	38億7407万円
	歳出	39億6814万円
老人保健	歳入	141万円
	歳出	141万円
後期高齢者医療	歳入	2億8149万円
	歳出	2億7888万円
下水道事業	歳入	6億4079万円
	歳出	6億3081万円
農業集落排水事業	歳入	3億3552万円
	歳出	3億2538万円

水道事業会計決算額

収益的収支	収入	8億7338万円
	支出	7億5537万円
資本的収支	収入	8363万円
	支出	4億415万円

※金額の単位は万円(未満切捨)

水道事業会計

賛成 さらなる健全経営を!

真下 昇議員

昨年度に引き続き収益的収支・資本的収支ともに合理的・能率的企業経営の原則に基づき、適切に事業展開された良好な決算内容である。安心・安全な水を安定的に供給することは、町民の日常生活、産業・経済活動にとって非常に重要である。さらなる健全経営と地震等の災害対策も含めた計画的な水道事業を展開することを要望する。

反対 節水した人には恩恵を

田母神節子議員

水道事業は公営事業で、その基本は「公共の福祉に寄与すること」であるから、大きな黒字もつくりたくない。節水に協力している人には、恩恵があつてしかるべき。10立方メートル以上の基本料金の設定は急がれる。水を利用して利益を上げている人と区別し、生活必需品である水道料金の引き下げを要求する。

後期高齢者医療 特別会計

賛成 保険料の収納率の確保を

津久井康雄議員

高齢化が進む中で、高齢者が安心して医療を受けられるように、町は引き続き親身な対応を心がけてほしい。また、保険料の収納率を落とさないよう確保をお願いする。現在は社会保障と税の一体改革が進められようとしているが、執行においては動向を注視し、的確な対応に努めていただくとともに、広域連合と連携を密にし、健全な運営にさらなる努力を要望する。

反対 75歳以上には医療費を無料に

田母神節子議員

3年目になったこの制度は高齢者を苦しめており、保険料の収納率も前年度より0.13%低くなっている。また、国保と同じく納めない保険証を取り上げることが決まっている。この高齢者泣かせの制度は廃止し、75歳以上の方の医療費を無料にし、安心して医者にかかるようにすべきである。

国民健康保険 特別会計

賛成 国保財政健全化に向けた取り組みを

大久保幸夫議員

一般会計から法定外繰り入れを行ったものの赤字決算という極めて厳しい結果である。町ではコンビニへの収納委託やジェネリック薬品の普及促進など、国保財政の健全化に向けたさまざまな施策に取り組むとともに、町を挙げての健康づくり事業も検討を進めている。今後、これらの取り組みが効果を上げて、赤字額の減少につながるよう執行のさらなる努力を要望する。

反対 1万円の値下げで納めやすく

田母神節子議員

「誰もが必要ときに医療にかかれるように」と始まった国民皆保険制度は、存続の危機にある。一般会計からの法定外繰り入れは3億円を超えている。早急に国庫負担金、県補助金をもとに戻し、住民負担を1万円下げること。払いやすい保険料ですべての人に保険証が渡され、安心して医療にかかれるようにすべきである。